



トピックス and ニュース

岩井宏安

今年は、ただただ暑い夏でした。しかし、日本各地で地震が多発し、不景気、ミサイル、毒カレー、バイアグラ、洪水……暗いニュースばかりでハルマゲトンがくるかもと眠れぬ日もありました。やっとクーラのお世話にならなくても寝られる夜がきました。

サー、天高く馬肥える秋、食欲の秋、読書の秋、パソコンの秋、インターネットの秋、メールの秋、Windows98の秋です。すぐ99年となります、し残したこと、したいこと、しなければならないこと、しなくていいこともあります、この際思い切っててしまいましょう。走る前に考えたり、走りながら考えることは止めて、走ってから考えても遅くはありません。皆さん一緒に走りましょう。そしてじっくり考えたら先はバラ色(ピンク色)です。

無責任ですが私が保証します。死んでからでは何もできません。死ぬ前に走りましょう。

E-mailアドレス変更のおしらせ。

● 前田征治 氏 (s-maeda@mba.sphere.ne.jp)

Windows98インストールについて 岩井

Windows98をHDDからインストールする方法ですがHDDに余裕があればの話です。

Windows98のCD-ROM(640Mバイト)には、AT互換機用とPC-98用の二種類が入っています。

どちらか一方でいいので、HDDの空き容量約300Mバイトを必要とします。

AT互換機は「Win98」フォルダとその中にあるファイル全てをHDDの適当な場所にCOPYする。

PC-98は「Win98n」フォルダとその中にあるファイル全てをHDDの適当な場所にCOPYする。

MS-DOSモードでフォルダ内のSETUP.EXEを実行すればOK。

HDDからインストールするメリット。

- ① CD-ROMより高速。
 - ② safeモードでしか起動できない場合(CD-ROMが認識できない)。
 - ③ ネットワークの変更をするとCD-ROMが要求される。
- 以上のような時、CD-ROMを探し、装填しなくとも即実行できる。

例会報告

1998年9月5日 (pm.6:30)

場所 大山崎ふるさとセンター

参加者氏名 若林、中辻、若井、中村、前田祐
増田、岩井、小寺、前田征 9名

内 容 ハード部会：若林氏、談 (my.pc 夢か!)。
インターネット部会：3Dを使用
したホームページの作成手順 (増田)
その他：

次回例会

日時 98年10月3日 (土) (pm.6:00)

場所 大山崎ふるさとセンター

例会内容 18:00 ハード部会
19:00 Vip K6-2/300搭載の
Nweマシン稼動体感。(各氏)
20:30 VB. 部会講習会報告
VBのデータベースコントロール法
参加報告。(中村副部長、前田征、各氏)

クイズです？

平成見捨て、次の世代に、燃えて悔い無し、L i v e にリンク

7・7・7・7の戯れ言です。何を言いたいのでしょうか？。

正解者にはボールペンを差し上げます。

岩井までメールで応募願います。

応募資格：京都マイコン研究会会員に限る。

応募締切：98・10・2当日まで有効。

発表は910・3(土)月例会会場

岩井 宏安 1998 /

PC-NX(AileNX) : Windows95(OSR2) : Outlook Express(4.72.2106.4) : HTML(P14)

b obup_iy の忘備録

HIROYASU. IWAI

「BIOSの基礎」

BIOSの基礎(02)

BIOSを設定する基礎知識

B. システムリソースに関する基礎知識

正常に動作しているPCに、拡張カードや機器を増設する場合、IRQ（割込み番号）、I/Oポートアドレス（0000h～FFFFhの番地）、DMA（メモリから直接データをCPUに転送）、メモリマッピング（メモリ空間）などをシステムリソース（資源）と呼び、矛盾無く指定して、CPUやAPPとの間で情報交換ができるようにする基礎知識です。

① IRQ(Interrupt ReQuest) 割込み要求

- ・0番～15番までの16個ある。
- ・周辺機器には1つ以上の番号が必要。
- ・標準的なPCはCPUが1個しか搭載されておらず、一つの処理しかできない。
- ・ある処理の最中に別の処理の要求があることを、割込み要求と言う。
- ・周辺機器からの割込みが、どのような割込みか区別、管理する必要がある。
- ・16個ある割込み番号をIRQの何番に割当てたかで区別している。
- ・IRQはPIC(Program Interrupt Controller)割込みコントローラで管理されている。
- ・PICは2個搭載され一個につき8番で16番まで番号がついている。
- ・IRQ2とIRQ9はカスケードに接続している。
- ・優先順位はIRQ 0, 1, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 3, 4, 5, 6, 7となる。

PIC (Master)		PIC (Slave)	
IRQ0	システムタイマ	IRQ8	リアルタイムクロック
IRQ1	キーボード	IRQ9	IRQ2へのカスケード
IRQ2	IRQ9へのカスケード	IRQ10	
IRQ3	COM 2	IRQ11	
IRQ4	COM 1	IRQ12	P S / 2 マウス
IRQ5	L T P 2	IRQ13	数値演算プロセッサ
IRQ6	F D D	IRQ14	プライマリ I D E
IRQ7	L P T 1	IRQ15	セカンダリ I D E

- ・ユーザは優先順位を気にする必要は無い。
- ・IRQ 0・1・8・13はシステムが使用しているので割振れない。
- ・IRQ 2・9はカスケードでどちらか一方と5・10・11が使用できる。
- ・複数の機器に同じIRQを割り当てるときIRQの競合が発生する。
- ・どのデバイスから割込みが出たのか解らずトラブルの原因となる。
- ・IRQの空きが無くなれば周辺機器の増設は不可能です。

インターフェイス	I/Oポートアドレス	インターフェイス	I/Oポートアドレス
IDE(primary)	1 F 0 h	Game ポート Joystick	2 0 0 h
IDE(secondary)	1 7 0 h	Sound Blaster16	2 2 0 h
Floppy Disk	3 F 0 h	Sound (MIDI ポート)	3 3 0 h
Serial ポート 0 COM1	3 F 8 h	NE-2000(LAN)	3 0 0 h
Serial ポート 1 COM2	2 F 8 h	AHA-1542CF(SCSI)	3 3 0 h
Parallel ポート 1 LPT1	3 7 8 h	AHA-1522(SCSI)	3 4 0 h
Parallel ポート 2 LPT2	2 7 8 h		

- 0 0 0 0 h ~ 0 0 F F h (255個) はシステム (DMA, PIC, コプロセッサ) が予約。
- 0 1 0 0 h 以降は、拡張カード、周辺機器が用いる。
- 0 3 0 0 h ~ 0 3 4 0 h はサードパーティに開放され重複のトラブルが起きている。
- 古い ISAバスカードはアドレスの範囲指定が無いので要注意。
- Plug & Play の機能で最適なリソースが割当てられるようになった。
- 『最近のマザーボードは、IDEポート、シリアルポート、パラレルポートなどのI/O関係のインターフェイスがすべて基板上に搭載されるのが一般的です。そして、これらのボード上のI/Oマザーボードを総称して「オンボードI/O」と呼びますが、この「オンボードI/O」のマザーボードでは、それぞれのマザーボードを使うかどうかを、BIOSを使って使用できるようになっています。』
- プリンター(パラレルポートLPT1 / IRQ7)を使用すると設定すれば、プリンターが未接続でも、IRQ7は消費されてしまうのでリソースの有効利用はできない。

③ DMA (Direct Memory Access) CPUを介さずにメモリにアクセスする仕組み。

- DMAを制御する回路をDMA C(DMA Controller)と言う。
- 周辺機器 (HDDなど) からプログラムを呼び込んで実行する場合。
 - (A) HDDからデータをメモリに転送
 - (B) メモリからデータをCPUに転送
 - (C) CPUが全ての処理を行いプログラムの実行
- CPUに負担がかかり能率が落ちるので (B) の部分をCPUの力を借りずに実行できるDMA C (8327A) を開発し搭載したのでCPUの能率が上がった。
- DMA CはPICと同じ理由で2個搭載されカスケードに接続せれている。
- 一個につき4chのデータ転送ができる合計8ch利用できる。
- DMAチャンネルとDMAコントローラ

Master 16ビットDMA		Slave 8ビットDMA	
CH 4	DMA1	CH 0	使用可
CH 5	使用可	CH 1	DMA4
CH 6	使用可	CH 2	FDD I/F
CH 7	使用可	CH 3	使用可

- CH 4はカスケードポートとしてシステムが使用。
- CH 2はFDD用にシステムが予約。
- CH 0~CH 3はデータバス幅が8ビットで低速、CPUに遠い優先度低い。

[バスマスターの性能向上]など改良されたがコスト高で未搭載となった。

- (C) ISAバスと互換性の無い、VLバスやPCIバスが登場。[低価格] [シンプル]
 - [高性能]の三拍子そろった仕様で、マザーボード上のDMAを使用せず、拡張カードの上に独自のDMAを設けて高速転送を実現する手法を確立した。
- (D) 各種デバイスのデータ転送には二つの方式がある。

・バスマスター方式

- (A) PIO方式(Programmed Input Output)はCPUがデータの転送をする。
- (B) DMA方式はDMAがデータの転送をする。
- (C) バスマスターとは、バス(データ経路)、マスター(占有者)でバスの占有権を支配することです。通常のシステムではCPUがバスマスターとして動作していますが、DMAコントローラもバスマスターとして動作できます。バスの占有権を支配しながら直接メモリにデータを書き込むことをバスマスター転送と呼ぶことがあります。
- (D) SCSI対応のHDDは独自のDMAが搭載されバスマスター転送で動作している。
- (E) IDE対応のHDDもバスマスター転送が実現しているので標準化された。
- (F) 現在はU・W・SCSIが最高速であるが高価である。

④ メモリアドレス

・1Mバイト以下のメモリマッピング

00000 h - 9FFFF h	システム用・APP用	コンベンショナルメモリ
A0000 h - BFFFF h	Video Memory用	UMA・未使用部分UMB
C0000 h - C7FFF h	Video BIOS用	UMA・未使用部分UMB
C8000 h - EFFFF h	拡張Device用	UMA・未使用部分UMB
F0000 h - FFFFF h	System BIOS用	UMA・未使用部分UMB

1Mバイト以下のメモリ空間をコンベンショナルメモリとUMAで管理している。

- (A) コンベンショナルメモリ
 - OSのプログラムやアプリケーション用のソフトウェア領域。
- (B) UMA(Upper Memory Area)
 - Video BIOSやSCSI BIOSなどデバイス用のハードウェア領域。
- (C) DOS用に設計されたメモリマッピングを引きずっている。
- (D) DOSの環境では1Mバイトの空間をアドレッシングできれば十分だった。
- (E) UMAの中途半端な領域がそのままになっている。
- (F) 1Mバイト以上のメモリ空間はEMM386.SYSやHIMEM.SYSのドライバをCONFIG.SYSに組み込みアクセスしている。
- (G) 1Mバイト以上のメモリを拡張メモリ(EXTENDED Memory)と言う。
- ・XMS(eXtended Memory Specification)コンベンショナルメモリを除いた640Kバイトを超えるメモリ領域、UMB、HMA、EMBに分割して管理している。
- ・HAM(High Memory Area)

などがあり、理屈を個々に記載しました。

資源、リソースと言う言葉は感覚的には理解できるが、実感できないのが根元で、消化不良を起こして解りにくくなっています。もう一度読み直して質問事項をまとめて下さい。

新たに拡張カードや周辺機器を増設する場合、CPUやアプリケーションと正確な情報交換をするために、IRQ・I/Oポートアドレス・DMA・メモリマッピングなどシステムリソースと呼ばれるPC内部の資源を、矛盾無く最適に割当てなければなりません。

以上が最初に書いたもので、詳細を読み直して下さい。説明も試みたいと思います。

サードパーティが独自性（囲い込み）を出すために開発した、拡張カードや周辺機器のドライバはシステムリソースとの親和性でトラブルを招くことがあります、Windowsの機能UP毎にサードパーティの独自性は修正させられ標準化され、インターネット、専門書、などでも情報が入手できるようになり、オープンになってきました。

Windowsの土台となる難解なBIOSのペールを外し丸裸にしようではありませんか。

記 1998.8.23 岩井 宏安。

インストール中毒で作成した「起動ディスク」で、新規にインストールした場合の小さな
親切大きなお世話を！！

UltraATA対応のIDEハードディスク（98・9現在ではまだ導入ユーザは少ない）を使って
いる場合、DMA転送が有効になっているかをチェックして下さい。

チェック方法を記します。

[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [システム] → [デバイスマネージャ] → [ディスクドライブ] → [GENERIC IDE DISK TYPE47] → [プロパティ] → [設定] → 「DMAのチェックBOXにチェックを入れる」

[GENERIC IDE DISK TYPE47] —— この表示は各自違うと思います。

チェックが無ければ、UltraATA対応（転送速度=10300 Kバイト）のIDEハードディスク
でもPIOモード4（転送速度=4430 Kバイト）による転送になる。

ATAやDMAはBIOSの基礎03で説明します。

お騒がせメーラ

増田則雄

何が問題か…解決？！

数日メールを見なければ沢山届いていました。一通のメールで何か論議がされているようで、事の発端はメールの文字化けのようでした。この皆さんとトーキングされている内容と各会員さんの見解を掲載して頂きたいとの要望で原稿を差し替えました。（尚、掲載メールには事務局確認、転載不可の意志表示が無いメールを掲載させていただきましたのでご了承ください。）

発端は…このメールから

この返信メールを見られたら、多分、HTML言語の文字化けは見えないでしょうが、こちらでは、ゴミとなって見えます。

……圓口 <---この文字列の後に「」が見えるのです。

小生は「OutLookExpress」を使っていないので、見えるのです。この現象は同じメーラ・ソフトを使っていると生じないようです。出来れば、知人に再設定を願った内容を下記に転載しますので変更願うと助かります。

「OUTLOOK Express」のメニューから「ツール」を開く、メニューリストから「オプション」をマウスでクリックする。開いたダイヤログのファイル・タブの「送信」をマウスでクリックすると、「メール送信の形式」が出る。その左側にチェックボタンが2つ見える。その上方のHTML形式のチェックボタンの中が黒目で、下のテキスト形式のチェックボタンの中が白目となっている。マウスで下のテキスト形式のチェックボタンの白目をクリックして黒目にする。これで、先のような英文字列が送られなくなります。そちらで、文章を作成されたときは見えないので、相手には見えます。読みやすいです。

以上のような文字化けで、岩井さんとやりとりして、増田さんから新技術を使わないのは進歩がないと言われました。でも、MSの製品や小生の使用しているメーラがバグるのか、不明ですが、若井さんから配信された「太郎」のHTML言語はバグりました。上記の知人が他へ配信した先も文字化けがあったと言いましたから、MSの方が怪しいと思っています。

是非、リッチテキストでの配信を変更下さい。また、UNIXマシンのメーラで受けたときはどうなるのでしょうか、機会があればテスト下さい。

お願いまで。

P.S

このメールのなかで文字化けが生じるようでしたら、貴兄のメールの文章をコピー＆ペーストしたから生じたので、お許しを。

:::::::::::::::::::

河原 : tomoppy

E-Mail :

HomePage : <http://www2s.biglobe.ne.jp/~tomoppy/>

:::::::::::::::::::

メールありがとうございました
テキスト形式に変更しました。

圓口

再配信お礼のメール

圓口さんへ

At 06:28 98/09/17 +0900, maruguchi wrote:

>
> メールありがとうございました
> テキスト形式に変更しました。
>
> 圓口

個人的にお願いして早速に変更下さり、感謝します。
その上、皆さんへ公開して戴
き、感謝します。早く、MSメーラーが改善されることを願
うのみです。英数字社会の
メーラなら問題がないのでしょうか。

以上の件に関して発進されたメール。

増田から 各位様へ

下記の内容の見える、見えないの意味が分かりません。

当方も、「OutLookExpress」を使っていませんが未だ
かって見たことが有りません。

MS以外のメーラでは見えるということですか？

若林氏も河原氏と同じメーラ・ソフトだと思いますが。そ
の件を若林氏に返答をお願いしたいですね。

このメーラだけが文字化けするのであればどちらが
マズイのでしょうか？

M.W 氏のメール

次ページへつ続く

9／18付けの小生メールが添付形式になっていたとは驚きです。今回も前便同様 Microsoft Exchange を使用していますが一部不安定状態でだましだまし使っているので原因がその辺にあるのかどうかは分かりませんが、現在のところ貴兄以外より文字化けの報告を受けていません。

今までの記憶を辿ると、確かに宛先や件名欄の文
字化けは屡々ありました、本文の文字化けは数

前ページより

回有ったようです。この件については例会やメール上でたびたび論議がありましたが明確な対処法は見出されていませんでした。

9/20, 21付けの岩井さんの提案をこの機に討議する必要があると思います。さしあたり、インターネット部会で検討してはどうでしょうか。

J.K氏のメール

ご無沙汰いたしております。種々情報を戴いていながら、余裕がなくご無沙汰ばかりで申し訳ございませんでした。今日は、html言語が本文の後ろについて来るとの話ですので私の所の報告をさせていただきます。

*私は、ユードラを使っております。上記のhtml文はどういう訳か、以前から、岩井さん のメールには、必ずついてきます。今回の円口さんの最初のメールは、付いておりました。2度目のは、付いておりません。他の方から来ているメールでは、何ら問題なく本文のみで、添付ファイルも問題なく所定のソフトで見ることが出来ます。ただし、これは、増田さんからのメールには拡張子が付いてこず。ソフト指定に悩むときがあります。

今回、若林さんからの添付ファイルには、拡張子がなく一太郎V8で見てみましたが、見事に文字化けしておりました。html+漢字コードの化け。

以上ご報告まで。

H.I氏は

増田氏、加藤氏、圓口氏、若林氏、からの報告を拝見いたしましたが、それぞれのメールが特定できません。せっかくの情報交換です、使用メールと送り出す文字のプロパティを記入されて配信されることは如何でしょうか？

ちなみに、私は、Outlook Express4.0 HTML(テキストリッチ)を使用しています。

次回の例会は、インターネット部会で集計されることは如何でしょうか。

内容は別にして各自協力しましょう！！。Testとして各種の文字で送ります。

イワイ……半角かな……イワイ

イワイ……全角かな……イワイ

iwai……ANK……iwai

IWAI…全角……イワイ

岩井……全角……岩井

抽糸 英 TEST 抽糸 英

(参考) 窓X8/9/19 [・] このマークは、会社で使用しているメール(8ビング)で化けました。

事務局には大変なノルマをかけますがよろしくお願ひいた

します。

せっかく盛り上がりかけた機会を有効に利用したいものです。

私は全ての方からメールをいただいているので結論めいたことはいえません。

メール以外のアドレス部分に文字化け(増田氏)がありますが、不要文字の混ざったメールは有りません。全て正常にきております。

さらにH.I氏は

以上がここ数日のメールでのやり取りだと思います。

過去には中西洋氏や若井氏からもメールをいただいているが異常はありません。

メールの優劣を評価するのではなく、霞の掛ったそれぞれの癖が、ハッキリしただけでメールの選択は個人の裁量に委ねたらいいと思います。重箱の隅っこをつつきあうより、キラッと光るメールの中身を大切にしたいと思います。

仕事上の重大なメールでしたら、相手のハードやソフトを確かめてからメールを送る慎重さも必要ですが、私たち内輪のことでの大袈裟に構える必要はないと思います。

そこでM.N氏が…と

次ページに

自分のことはさておき、帰ってきてメールを開いたら、またメールで議論が交わされているではありませんか。私は、下記のメールを使用していますが特に不便を感じていません。皆さんからのテキスト形式・HTML形式のメールも文字化けもなく受信できます。他のメールは使用していないので比較は出来ませんが？。

リッチテキスト(HTML)形式を使用している理由は、ワープロ感覚で文章を装飾できることです。どちらの形式でメールを書くかは本人の自由だと思います。

今までも、自筆の手紙を受け取った時この字は読めないので、再度書き直して下さいと言っていたでしょうか。

世の中に便利な道具があれば使わない手はないと思うのですが。皆さん如何でしょうか。

岩井さんから提案のあった件は、基本的には必要ないと思いますが、お互いに参考になるので当面の間書くことには賛成です。早速流用してみました。

そこでH.I氏提案する

次ページへ

京都マイコン研究会の皆さんに提案いたします。メールの最初か最後に、

使用機種：

使用OS：

メールとバージョン：

前ページより

TXTかHTML(ポイント):

名前:

アドレス:

(その他是非物があえれば追加する)

を付けられては如何でしょうか。

このようにしておけば、文字化け、不要文字の挿入があった時、メールの発信者に、問い合わせをカマス必要はないと思います。(メールの癖はつきものと認識済み)既にインターネット上で使用されているメールであり、認知されたものを、一個人の力では廃棄できるものではないと思います。

使用に耐えないものは自然淘汰されていくものだと思います。今、何がメインで使用されているか常に気お付けているからです。

各個人で掘出したものがあれば、個人の使用感はデメリットを上回あるメリットがあると推薦され、京都マイコン研究会に紹介して皆さんで評価をしては如何でしょうか。

インターネットそのもののツールより、その奥にあるコンテンツが有用なものかどうかの時代です。入り口に戸惑っていては、停滞をまねくばかりで進歩の手助けにはなりません。

増田メール配信

各位 様へ

メールの文字化けについて。

確実に解っていることは、ユードラの問題です。

ユードラはマックから流れて來たものでマックではいろいろな文字化けが発生しています。

ホームページをご覧になっても解るようにマックユーザが作成されたホームページには文字化けが多い、これは設定の問題ですが。英文字で記述することを前提に考えている処が多いのです。日本向けユードラはまだ未完成なのではと思います。

私が思うには、ユードラが対処しなければならない問題だと思います。

今回に限ったことでは有りませんが、前回にも述べたようにユードラにアイ・ラブ・ユー(一部の哀願者)をされていられる方自身の問題ではないでしょうか?

皆さんどう思われますか?

JK 氏のメール受信状況

誤解のないように連絡しておきます。

私は、幽霊文字が付いて來ても必要箇所のみ読み処理しております。そのため今まで言わなかつたのです。今回、円口さんのメールのやりとりでメールの問題でどうなるかとの議論が有つたので、連絡したまでです。

*しかし、私の疑問があります。本財団では、皆(80台LAN接続)ユードラを使っており、外部との連絡に使用しておりますが、何ら問題はおこっておりません。(添付ファイルでは拡張子が付いてこないのがたまに発生しますが)

*一般には、レベルの低い使い方が多いので問題がないのでしょうか?

*円口さんの2回目のメールは、どうされたのか、正常でした。

*今のところ京都マイコン研究会(岩井さんは、必ず幽霊付き、増田さんは、転送メールのみ HTML 文字が付くときがあります。それと、添付ファイルの拡張子なし=送られているのは、添付ファイルではないのかもしれません)

*私のレベルが低いことは、重々承知しておりますので、何も文句を言うつもりではありません。

以上、勝手なことお書きました。

HI 氏の推測

次ページへ

けなしたり、罵り合うのではなくPCは趣味の王様です、もっと優しく見つめましょう。

ユードラとは

- ① MACで使用されていたメールで不具合ごと、DOS/V機に移植されたもの。
- ② テキストのメールのみ作成でき、HTML言語のメールは作れない。(岩井の推測)
- ③ Outlook Express(MS)から送られるHTMLでのメールでタグが露出する。
- ④ Outlook Express(MS)から送られるTXTのメールは正常に受けられる。
- ⑤ ユードラ同士のメール交換は問題点がない。
- ⑥ 他のメール(NSなど)との交換が確認できない。
- ⑦ 添付マークの付いた無添付メールが時々くる。(岩井は受け取り経験無し)

以上が加藤氏と増田氏のメールから推測したのですが、もっと踏み込んだ説明がないと、建設的な討論の場所にならないのではと思いますが??胃潰瘍になります。

アドレス帳の再利用。メールが作りやすい。メールの整理が簡単。メモリの消費が少ない。ウィルスに強い。インストール、アンインストールが手軽。費用が掛らない。等他のメールとの比較で優位性を顕著にあらわす説明を、京都マイコン研究会にお

願いしたい。

立ち入った質問で恐縮ですが、もしよければユードラを団体で導入された経緯がわかれればお教え願えませんか。80セットの導入ですので、いろいろと検討された思います。

圓口氏の2度目のメールにはHTMLのタグが無かったとの報告ですが、圓口氏はテキスト文で再送信されたと思います。

私どもの会社も“リビング8”と言うメーラが導入されています。いちいち使用方法など説明する必要もなく手軽に使用でき、一度使えばもうベテランと言う代物です。これは機能が極端に制限されたもので、作成途中の一時保管ができないな、文字の大きさ、文字の種類、また色を付けたり、線を引いたりなど装飾のできないものです。詳細はわかりませんが、メールのプライバシーはありません。しかしシステム管理者の管理(アドレスの一括管理やディスク使用状況)も手軽にできるメリットがあるようです。個人的なアドレス帳の拡張は統合されていません。

個人で使用するには、このようなメーラがベストだとは考えませんが、業務で利用するには手軽であり、HDDの使用も極く省資源向きたと思います。

また、MSのメーラが最高だとは思っていませんが、今現在Outlook Expressを削除してまで他のメーラを搭載するにはデメリットが多くなる気がします。

また過去にHTML言語が標準になると言いつつおられましたのを信じています。

1に睡眠 2に栄養 3が無くて 4にメールで、だいぶ風邪も良くなりました。安心下さい。

M.W氏の見解は

9/22付けの岩井さん作成による昨今メールトラブル表を見て、メーラーだけの原因とは断定できないようです。それ以外にプロバイダー又は会社のメールサーバーの環境とか、パソコン機種又は増田さんご指摘のように設定内容等に帰因しているのではないかでしょうか。

確かに今までのトラブルは大半宛先及び件名欄での文字化けで、本文中では時たま一部に文字化けがあっても推定できる程度でしたが、出来ることならすっきりしているのに越したことはありません。例えば、CCを含む宛先名によって用件の自分への関わりを判断したり、件名で本文の要旨が一目で解りますしメールの整理時にも必要です。

この件は過去屢々話題に上りながら火急の問題でもなかったので尻窄み状態でしたが、20名足らずの会員間で解決できる方法はないものでしょうか。例えば、先ずアンケート方式での調査でトラブル有無の全体表を作

り、問題点を絞り込んで最大公約数を見つける。これは上記岩井さんの整然と列記されたトラブル表(ただし小生発信分は全てTEXT文です)を見て思いついた案で、そのアンケートにどのような内容を盛り込めば適切な回答を得られるか、又は、元々これは難題であるとか、皆さんのご意見お聞かせ下さい。

H.I氏の見解

次ページへ

メールの作成で思い当たったこと。

Outlook Expressをメール作成に使用し、テキスト・HTMLに関わらず配信すると、受信者がOutlook Expressを使用している場合、件名とメールの部分はテキストであるか、HTMLであるかを自動認識(ユーザ選択はできない)するようですが、テキスト文の場合、宛先・CC・BCC欄の表示に文字化けがあります。しかし配信先には正しく配信されているようです。(若林氏はテキストでのメールと連絡がありました)

ユードラを使用されての受信はHTMLのタグもテキスト文として表示してしまう。HTMLの受信選択はできない。(岩井の認識不足か?)と思われますので扱いには注意を要します。

ユードラ経験の無い私には、HTMLの扱いをどうされているのか教えて下さい。

認知され標準的に搭載されたHTMLを使用するか否かの問題です。

表現力豊かなHTMLに変わる新言語もできつつあると聞きますがまだ認識されるまでには至っていません。もうしばらくはこの状態が続くものと思います。

受信	発信	メール内容	トラブル内容と疑問
若林	<= 増田	正常(HTML)?テキスト	
加藤	<= 岩井	異常(HTML)不要文字付加	
岩井	<= 加藤	正常(HTML)?テキスト	
加藤	<= 圓口	異常(HTML)1回目 不要文字付加	
加藤	<= 圓口	正常(テキスト)2回目	
神賀	<= 岩井	正常(HTML)	
岩井	<= 神賀	正常(HTML)アドレス部化ける・?テキスト	
中辻	<= 岩井	正常(HTML)	
岩井	<= 中辻	正常(HTML)	
加藤	<= 若林	異常(テキスト)不要文字付加・?添付マーク付	
岩井	<= 若林	正常(テキスト)アドレス部化ける	
岩井	<= 増田	正常(HTML)アドレス部化ける・?テキスト	
岩井	<= 圓口	正常(HTML)2回目・今後はテキストですか?	

先日も配信いたしましたが若林氏はテキスト文とのことで訂正いたしました。

完成したデータではありませんので私自身も信じられない個所があります、訂正して下さい。無くて七癖、有る

前ページより

のが常識、それぞれの癖を認識すればいいのだ！！
インターネット部会で集計されるとのことです。各自追加してメールして下さい。

Masao.W氏の見解

メールの文字化けで久しぶりに話題沸騰ですね。
遅くなってすみません。
インターネット部会で集約せよとのことですが、すでに岩井さんがされていますので多謝、多謝。

メールの違いによる文字化けは避けられないようですね。

ではどうすればよいのか？

- a) テキスト文しか送信しない。
- b) 添付ファイルやリッチテキストを送る場合は補足説明をつける？
- c) 受信側で対処する。

(受信済みのメールをサーバーに残して、メールを変えて再読み込みする等)

が考えられます。

なお、Expressでテキストに設定しておいても「ひな形」や「コピー＆ペースト」でリッチテキストになります（河原さんが一太郎と言われていますが、ひな形です）

中辻さんから「SP128DSU-ISAについて」（9月1日）のメールで再送されていますが、その違いは最初のメールには左端に壁紙があり添付ファイルのマークが付いていました（添付ファイルは無し）この時、再送時に壁紙を削除されたのでしょうか？

わたしもOutlook Expressを使っていますが異常ありません。

なお、参考に「文字化けメール（受信者）」と「オリジナル（送信者）」を比較したいので配信お願いします。今後、異常があればすぐに再配信ねがいます。

電子メールはテキストファイルしかやり取りできないので画像などバイナリーデータはエンコードされます。

- ・MIME (Base 64)
- ・BinHex (マック)
- ・UUENCODE (UNIX)

などが主に使われています。

デコードがうまくできなかった場合、文字化け部分を変換するフリーソフトがあります。

[Wincode] MIME、UUENCODE用
ftp://ftp.ijj.ap.jp/pub/win3/util

[Stuffit Expander] BinHex用
ftp://ftp.forest.impress.co.jp/pub/win/util/
archive/stuffit

「テスト例文」

イワイ・・・・全角かな・・・・イワイ (半角になっていない)

イワイ・・・・全角かな・・・・イワイ
iwai・・・・ANK・・・・iwai

I W A I ・・・・全角・・・・・・イワイ

岩井・・・・全角・・・・・・岩井

ユードラはメールでは一番売れているソフトではないでしょうか？

勿論ハイパーテキストも扱えます。

ファイル管理がラクチン。

多機能あり。

O S Windows 95

メーラ Outlook Express (Ver. 4.72.3120.0)

メール送信の形式 テキスト

メーラのトラブル？！

Eudora Pro のVer.UPせずに約半年経過したので、心機一転して、Becky に乗り換えて、このメールを使っています。HTLM形式は文字化けせずに受けています。また、このメーラからHTLM形式のメールを作成できません。従って、この返信メールはテキスト形式へ変わっております。このメーラの HELPに下記のような記事がありました。参考になりますか？。

環境によって、Becky!のHTML表示でトラブルが発生することがあります。現象としては、Netscapeなど、他のブラウザが立ち上がって、Becky!側では×マークのみのメッセージボックスが表示されます。このような現象が発生した場合、以下のようにすることで問題が解消することがあります。

- ・「通常使うブラウザ」をMSIEに設定する。
 - または
 - ・MSIEをインストールし直す。
- これでも駄目な場合は、一旦NetscapeとMSIEをアンインストールした後、Netscape
→MSIEの順に再インストールして下さい。

上の説明のような現象も絡んでいるようですね。小生のマシンにはNetscapeとMSIEが入っています。入れ方は、IE → NC ですから、Eudora に影響を与えたのかも知れません。

ユードラを常時使用されている加藤氏の職場では何らのトラブルがないと言うことと。以前にも、野沢さんが(彼女もユードラ使用)指摘されていたように設定とソフト間のトラブル、皆さんの中にもご指摘がありました事のようですね。今回、河原氏が皆さんで論議して下さいとの提案は私たち会員相互の繋がりと探究心を深める有意義な討論となりました。

また、今回の件ではまず己を知ることが大切なことだと感じました。

皆さん、論議の無いところには京都マイコン研究会の発展も無いということも忘れずに今後ともご参加ご提案くださいますようお願ひいたします。